議　事　録

会　議　名	第２回学校運営協議会

実施日時	令和７年２月１８日（火）15:00～16:50
会　　場	本校第１会議室
出　席　者	□ 会　長　　岩手県立大学ソフトウェア情報学部准教授 □ 副会長　　盛岡商工会議所事務局長 ■ 委　員　　イオンモール盛岡南ゼネラルマネージャー □ 委　員　　盛岡市肴町商店街振興組合事務局長 □ 委　員　　本宮二丁目町町内会会長 ■ 委　員　　大宮さんさ踊り保存会踊りの副部長 □ 委　員　　盛岡市立本宮小学校長 ■ 委　員　　盛岡市立大宮中学校長 □ 委　員　　ＰＴＡ会長 ■ 委　員　　校長 □ 委　員　　副校長 □ 委　員　　副校長 □ 委　員　　事務長 ※■欠席者
説明者等	□ 総務主任　　□ 教務主任 □ 生徒指導主事　　□ 進路指導主事 □ 保健副主事　　□ 教育相談主任 □ 図書主任　　□ 商業科主任 □ 総務部担当

内　　容	１　開会のことば ２　校長挨拶 ３　会長挨拶 ４　学校評価の説明 ５　各分掌取組状況等の説明 ６　質疑・提言等 ７　校長から ８　閉会の言葉

質疑・提言

副校長：　ご意見を伺うにあたって、今学校で問題になっていることをお伝えします。

・新しい入試制度が始まるが、特色入試を本校活性化のためにどのように活用していくか。

・令和 6 年度の生徒の自殺者数が全国で 500 人を超えた。不登校やいじめへの対応は外部の方から見てどのように映っているか。

・ＤＸハイスクールとして支給された補助金をどう使っていくのがいいのか。

・昨年本校生徒の部活動中の事故が報道されたが、起きてからの対処ではなく予防はどうあるべきか。

・いじめの対応で保護者とのトラブルになるケースが増えている。生徒向け道徳教育を学校でやるべきというご意見も頂戴する。いじめ予防として学校は何をしたらよいか。

・現在制服のあり方、校則の見直しを検討している。外部の方からのご意見を伺いたい。

・地元企業を支える優秀な人材の育成を目標としているが、県内就職者は県の目標の 8 割を切っている。盛商に期待するところをお聞きしたい。

委　員：　・地元就職率については高い方だと思う。賃金の問題もあり、首都圏からの引き合いも強くなっているのが現状。地元はなかなか人材確保できないという話も聞く。地元大学卒業生もほとんど地元には残らない。

県内で就職するメリットについても指導いただければと思う。

・いじめ問題については、学校評価を見ても取り組みは概ね良好に見えても、生徒の回答で「全くあてはまらない」が３％ほどいる。十数名程度ではあるが、実はここが重要な話になってくるのではと感じた。見えていない隠れた部分があるのだろう。小さな情報やサインを見つけることが肝心だろう。

・ＰＴＡの回答数が低いのはなぜか？　この回答率をどう評価するべきか少し悩む。情報が届いていないという可能性もあるので、工夫して回答率を高めていくべきと思う。意見がいろいろ出るのは当たり前だが、情報の発信に合わせて情報の収集についても工夫を重ねていってほしい。

委　員：　・特色入試については、以前はクラブ推薦だったが、学校での裁量が可能であるならば、盛商に関しては従来のようなスタンスで部活動を中心に推薦を行っていってていいのではないかと思う。

・いじめの問題は今やどこにでもある問題。保護者があれこれ言ってくるという話も各所で耳にしている。道徳教育をやって成果が表れるのであれば、もちろんやるべきだろうが、高校生活では部活動など熱中できるものがあれば、仲間の連帯感など勉強以外のところで学べることはある。その点で盛商は充実していると感じる。

・制服、校則は世の流れに沿った取り組みは必要だと思うが、何でもハラスメントというのはどうなのだろうかと思う。規律に沿った生活は必要だ。生徒に話合わせて決めていくという教育もあるのではないか。

・県内就職をしばりにすることは必要ないと考える。

委　員：　・本宮小学校への簿記の出前授業を行ったことは、今までにない素晴らしい取り組みだと感じる。高校生が小学生に「お金も大切である」ということを教えるところに意義があると思う。

・この町内の災害時の避難先として盛商が指定されていない。本宮小が指定されているが、盛商は校舎も新しいのでこちらを避難先に指定してほしいものだと思っている人は実は町内に多い。

・盛商にはかつて進学クラスがあった。2 年に進級する際にコース分けをして、大学を目指す生徒を集めた。その頃の大学進学率は県内で 2 割程度だったと思う。そのような進学クラスが設置可能なのであれば、盛商へ入って、商業の勉強をしたうえで、大学でさらに勉強したいと考える生徒が増えるのではないか。それも社会にニーズの一つかもしれない。

委　員：
・まずは御礼。高校生に本宮小学校の校舎の美化をしてもらった。みんな真面目で、小学生に良い影響をもたらしてくれた。また、全国のＰＴＡ大会があった際には、盛商マートを出店してもらった。コーヒー、どら焼きを提供してもらったが、全国の先生方に大好評であった。学校での学びをこういう形で実践に移しているという点で良い教育がなされている学校であると認識している。出前授業も行ってもらったが、小高連携とはこういうものなのだなあと大変感謝している。他の小学校からも羨ましがられた。
・マリオスの学びの発表会にも参加したが、大変良い取り組みである。学びが知識で終わらず実践につながっていくという点が盛商の強みであると感じる。
・高校生の主体性というものをもって次の社会や進路に進んでいってほしい。盛商に入学することは目的ではなくその先で何をしたいのかということを、３年間をとおして掴んでほしい。「自ら考えて取り組める高校生」というものを期待したい。小学校では学級会をよくやるが、高校生であっても自分たちの暮らしをよりよくしていくために、何が課題でどう対処していくかということを自分たちで考える力も経験も持っているはずである。整容や校則については保護者の意見もあるようだが、よくなりたいと思っているのは誰なのか、ということを真剣になって高校生自身が話し合えればいいなあと思う。自分を生かす道を自分で探すことが大事である。
・文化祭を見ている時も思ったし、アンケートを見ても生徒の自由記述で「楽しいです」「学ぶことが面白いです」という生徒が多くいる。盛商に入ったことから学びの楽しさに気づいた生徒が多数いるので、そういう生徒をこれからも育てていってほしい。部活動で生きる道を見出す生徒もいれば、学習で生きる道を見つける生徒もいる。
・いじめに関しては、我々大人が小さな違和感を見過ごさないこと、サインに気づくことが大事であろう。決して生徒に対して無関心にならないこと。
・制服やヘルメット着用については、高校生自身に聞いて自分たちで決めるのがよいのでは。
社会でいわれていることを他人事とせず自分たちの問題としてとらえていくことが、これから社会に出ていったときに役に立つのではないかと考える。

委　員：
・商業に入りたくても学力が足りなくてあきらめている中学生も多いはず。学力を考えずに盛商に入りたい中学生に対して「なぜ盛商に入りたいのか」というアンケートを取ってみると、参考になることがたくさん出ると思う。
・いじめについては、学校での早期発見大事だが、親がきちんと見つけてあげることも大事。すべて学校に任せるのがいいわけではないはず。保護者のアンケート回収率が低いのも、生徒がプリントを渡さないだけではなく、見たうえで答えていない親も多いはず。その時点でその親は子供と向き合っていない。そういう家庭の方が、子供に何かあった場合に必要以上のクレームをつけているのではないか、とも思う。今の時代は学校ではなく親が教育できずにいて、かえって先生たちが苦労している。そんな環境を見て、いじめられている生徒はますます大変になっていく。保護者と学校間連携して予防をしていくべきだと考える。
・自転車通学のヘルメット着用などは、交通安全教室を行って、ルールを再確認することもだが、ヘルメットの大切さを生徒自身がわかるべきだと思う。
・県内就職は親にしてみると、その方がありがたいと考える。
・商業高校にふさわしい整容・校則のあり方については、いったいいつの時代から変わっていないのか、今の時代に合ったものに変わるべきではないのかを考えるべきだろう。男女平等の制服も大切だが、例えば月一回の私服デーを作るなどはどうなのだろうか。
・１年生から販売実習を行うことも考えたいという話だったが、だったら平常のアルバイトについてルールを変えることもいいのではないなどと思う。

委　員：　・この会を２時間で設定してもらえれば、委員の方々ももっと話せるのではないだろうかと考えた。検討してほしい。
・入試についてはやってみなければわからないというのが本当のところだと思う。倍率は上がっているのだから、ある程度目的は達していると思う。
・いじめについては、もはや学校内だけでは解決しない問題になっていると思う。カウンセラーやソーシャルワーカーなど、外部の力を積極的に借りる必要があると思う。深刻になったら生徒に無理をさせないということが肝要だろう。
・ＤＸについては、せっかく商業高校で行うのだから、もう少しＩＴを活用してビジネスにつなげていくとか、もっとできることがあるのではないかと感じる。
・アルバイトや整容については、私は流行にもっと敏感になってほしいと思うので、ファッションなど気にしてもいいのではないか、学校側がもっと寛容になっていいのではないかと感じる。色々なものがつながって働くこと向かっていくのではないか。
・商業科の魅力を考えた時に、高校生たちのどのようにこの学校という場を提供していくか、より良くしていくかを、自律的に考えてもらいたい。商業ということを強みにすることを考えていってほしいと感じた。